

学校教育目標 やさしく、たくましい子どもの育成(やさしく、たくましく)

# よく学ぶ よく遊ぶ 明るくあいさつ 黙って掃除

“子ども、保護者、地域、教職員、みんなが誇りに思い、楽しいと思える学校づくり”

〒801-0833 門司区清滝5-3-21 TEL 331-1708 FAX 331-1709 校長 三栗谷 進



もうすぐ2学期の終業式を迎えます。1年間で一番長い学期が無事に終わりそうです。

2学期は、校外行事などもたくさんあり、実りある学期となりました。保護者の皆様には、学校開放週間、校外行事、そして登校指導等で多くのご協力をいただきました。皆様のご理解とご協力に、心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

## 温かい声かけに感謝!

丸山校区、錦町校区では、下校時に見守りをしながら子ども達に声をかけてくださっています。ありがとうございます。

また、朝、登校してくる子どもの様子を見てみると、通勤途中の方が、子ども達に「おはよう。」「いってらっしゃい。」などの声かけをしてくださっているところを目にします。心が温かくなります。ありがとうございます。

運営委員会の子ども達が、正門下で「あいさつ日本一」ののぼりを持ってあいさつ運動をしています。通勤途中の方にもあいさつをすると、必ずあいさつを返してくださいませ。中には、子ども達以上の笑顔と会釈であいさつをしてくださる方もいらっしゃいます。そんな様子を見てみると、子ども達は色々な場面で、地域の方に声をかけられながら生活しているんだと、想像できました。でも、声をかけられた時に、あいさつを返せなかったり、言うことを素直に聞き入れなかったりすることもあるようです。あいさつやコミュニケーションは、一方通行ではありません。言われたら、心をこめて返す、素直に聞き入れるなど、これからも子ども達へ指導していきたいと考えています。

中には、声をかけられても恥ずかしくて返せない子どももいます。気持ちはあっても言葉に表したり、行為に現したりすることは、とても難しいことです。でも、子ども達は素直な心で、言葉や行為で表現することができるのです。だからこそ、子どもへの声かけやプラス発信は必要だと思ふのです。

子ども達を温かく見守ってくださる地域の皆様に、改めて感謝です。ありがとうございます。

地域の皆様、これからもよろしく願いいたします。

## 安全で、意義ある冬休みを!

もうすぐ、冬休みが始まります。子ども達はとても楽しみにしています。「クリスマス」「お正月」、子どもにとっての楽しみは、今も昔も変わりません。

ところが、生活の様子はずいぶん変わってきたようです。環境が変わってきたというのも原因の一つかもしれませんが、外で遊ぶ姿が少なくなってきました。凧揚げ、コマ回し、羽子板…今はこんな姿を見ることが少なくなりました。



家の中ではどうでしょうか。昔はすごろくや福笑い、トランプなど、家族みんなでにぎやかに遊んでいたように思うのですが…。みなさんのご家庭ではどうでしょうか。

そこで、昨年度も同じお願いをしましたが、今年の冬休みには是非取り組んでいただきたいことがあるのです。一つは、「子どもと一緒に遊ぶ」ということです。家の中でも、外でも、家族でふれ合いながら遊んでください。もう一つ、お正月という大きな行事を通して、「あいさつと手伝いをさせる」ということです。親戚や知り合いの方に、お正月のあいさつをする機会が多いと思います。また、お正月に向けての大掃除や、お客様が来たときのお手伝いも増えるでしょう。この機会を逃さずに、是非取り組んでみてください。子どもにとって、体験することは何よりの学びです。

安全で、意義ある冬休みになることを祈っています。

1月8日(水)の3学期始業式には、元気な子ども達の笑顔に会えることを楽しみにしています。

## 今年を振り返って思うこと



早いもので、平成25年(2013年)が暮れようとしています。

学校では、授業を中心にして小さな積み重ねを大切にしてきました。学力向上はもちろん、友達関係づくりなどにコツコツと取り組んできました。

教職員は常に前向きに、そして子どものために、学校のためにという思いで取り組んでいます。担任はもちろんですが、担任以外の教員、事務職員、校務員、栄養職員、給食調理士も同じ思いで取り組んできました。その熱い思いが、子ども達へ確実に伝わっていると実感しています。

また本校は、日頃からPTA役員さんをはじめ、委員の皆様、保護者の皆様、そしてスクールヘルパーやブックヘルパー、地域の皆様の絶大な協力をいただいています。本当に感謝しています。ありがとうございます。子ども達は、色々なところで頑張る大人の姿を見たり、声をかけられたりして、安心感をもちながら、勇気づけられたり、自分も頑張ろうという気持ちを育んだりしています。(逆に、大人が勇気づけられることもあります。)

殺人や虐待などの悲しい事件が起こるたびに、大人が子どもを守るという強い意識をもつとともに、子どものお手本にならなければならないと感じています。“自分一人くらい〇〇しなくても…”ではなく、“自分一人でも〇〇をやり遂げる。”という前向きな姿、強い気持ちを示していけば、必ず子ども達にとって大きな力になると信じています。

今後とも、健やかな子どもの成長のために、お互いに「お疲れさまです。」「ありがとうございます。」の気持ちをもって、プラス思考で連携していきましょう。

門司海青小学校の子ども達、教職員、保護者、地域の皆様に感謝し、また誇りに思いながら今年も暮れていきます。



みなさん、よい年をお迎えください!